

千葉県社保協通信

2021年度 No.4 2021年 8月 26日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL: 043-225-6790 FAX: 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

パラリンピック 学校連携観戦すぐ中止して !! いのち守れ 県社保協・憲法共同センター 共同宣伝



新型コロナウイルス感染爆発が起こる中でパラリンピックが開催された24日(火)12時~13時 JR千葉駅そごう側通路にて、定例宣伝を行いました。

県内では千葉市をはじめ6市2町の公立私立学校がパラリンピック学校連携観戦を予定しており、「感染が心配」「やめてほしい」の声が広がっています。オリ・パラ強行は感染拡大に拍車をかけ、県内でも



自宅療養中の妊婦さんが早産し、赤ちゃんが命を落とすなど、痛ましい事例が起きています。

自治労連県本部の黒濱さんは「病院や保健所など現場はひっ迫している。感染リスクが高い子どもたちのパラ観戦を中止させよう」と訴えました。

そして、「秋には総選挙が必ずあります。私たち国民の求める政策を実現する政府をつくりましょう。菅政権が決断できないのであれば、選挙で変えましょう」「誤ったメッセージを発信する菅首相に手紙を書きましょう」と呼びかけ、「菅首相への手紙~コロナ禍 私が経験したこと」を書き込めるチラシを配布しました。

土建、労連、自治労連、新婦人、私教連、県社保協、共産党の7団体11人が参加しました。

コロナ禍 いのち守って 流山社保協 住民の切実な声届ける ~社保キャラバン~

19日(木)流山社保協は、新型コロナ感染拡大の状況を鑑み、項目を絞り込んで、社保協からは8団体19人が出席、職員3人と1時間懇談しました。

東葛病院職員は、新型コロナ対策として、市内の病院と連携し、自宅療養者の訪問診療によるケアを行い、重症化していないかなどの見回りと孤独死を防ぐとりくみを提案。あわせて、職員家族へのワクチン優先接種と医師、看護師、検査技師、社会福祉士の増員を求めました。

また、生健会からは生活困窮者や障害者にエアコン設置費用と電気代の助成を求めました。年金者組合の参加者は「75歳以上の医療費2倍化中止」と年金削減の反対を国に要請してほしいと訴えました。



コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守る 8.21 なんでも電話相談会

千葉労連会場

26件

8月21日(土)全国一斉に行われた電話相談会では、昼のNHKニュースで報道されると千葉労連会場(12時~21時)の2台の電話が一斉に鳴り、終了までに26件の相談が寄せられ、7人の相談員が対応しました。

~特徴的な相談として、●母親と2人暮らし貯蓄が尽きそう。生活保護を検討(50代男性) ●雀荘を経営。コロナで客がなく家賃払えない(70代男性) ●売り上げが下がり工場閉鎖。ハローワークでも仕事見つからない(50代男性) ●体調が悪く仕事をやめた。仕事見つからず生活できない。身体障害者手帳を持っている。(30代男性) など。国に言いたいことし

て ▼「定額給付金を出してほしい」 ▼「正確な情報を国民に提供して」 ▼「医療体制を整えて」等の声が寄せられました。



千葉県社保協通信

2021年度 — No5 2021年 8月30日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

第48 中央社会保障学校 ~Web開催

学習をカに
憲法活かし

8月28日(土)~29日(日)

From 名古屋

いのち・暮らし守る政治へ転換を

「コロナ禍、いのち・暮らしの危機が迫る~みんなの安心支える社会保障を考える」をテーマに、第48回中央社会保障学校がweb開催され、2日間で全国から719人が参加しました。寄せられた感想文の中からふたりの方の感想を紹介します。

政治をかえる市民の自力をつけよう

第1講座—石川康宏・神戸女学院大学教授の講義は、大変示唆にとんだお話で、あっといふ間の90分でした。170年前に、世界最古の自由主義憲法を制定し、主権者として考えてきたデンマークと、50年に及ぶ侵略戦争の果てに、70年前に主権在民の憲法を手にした日本とは、社会の熟成度、個人の社会性の発展が違う。ブルジョア革命によって主権を勝ち取ってきたヨーロッパ、資本主義の発展が早く、自立した個人の形成が早かったヨーロッパと違い、民主主義と人権を求める闘いに勝利していない日本では、戦争放棄の平和憲法が歓迎された一方で、人権、社会権、ましてや生存権、地方自治について理解するのは難しかった。世界最先端の日本国憲法を手にした日本国民は、その飛躍に追いつけなかった。という指摘はなるほどと納得。そして、2015年の市民連合の、平和・立憲・個人の尊厳を掲げた市民運動は、『ブルジョア革命の欠落を埋めてさらに前へ進むものであった』と、私たちに励ましてくれました。

そして最後に、学習なしに個人も運動も成長しない、と一喝。政治をかえる市民の自力をつけようと呼びかけられました。一人一人が毎日学び、個々の力、言葉に説得力を持つと。3か月で5冊ずつ本を読もうと提案。勉強の予定をたててカレンダーに書けとだめ押し。



県内では、千葉土建、年金者組合、千商連、民医連、保険医協会、千葉労連、自治労連、地域社保協などから1日目29人、2日目13人がWeb参加しました。※写真は、自治体福祉センター会場

最後の一行は、『組織の力量は個人に左右される』でした。耳が痛い!!

もうひとつの講義(第2講座)は、若者を意識した『社会保障入門テキスト』をまとめられた若き学者、村田隆史京都府立大学准教授のお話でした。このテキストは、読み合わせできるように作られていて、とても活用しやすそうです。若くないけど、年金者組合の仲間で学習したいと思いました。(年金者組合千葉県本部 小林玲子)

各分野の運動を学び励まされた

▼第3講座・シンポジウム—「コロナ禍の社会保障、課題は~医療・保健所・保育・支援活動の現場から検証」についての感想です。

保健所の現状、なんでも相談会での生保拒否のように「自己責任論」に縛られている実態報告が印象的でした。各分野での社会を変えようとする運動に励まされました。

全体を通しての感想は、コロナ禍で、遠方からでも気軽に参加できるリモート開催は、時間的にも費用的にもコロナ禍の中、大変ありがたいです。実行委員会の皆様ご苦勞様でした。さまざまな学習交流の場を日常的に開催していただくと嬉しいです。

(銚子社保協事務局長 武田清春)

9.5

医療・介護・保健所の削減やめて! いのちまもる緊急行動 ぜひ参加を!!

- JR 千葉駅東口 旧クリスタルドーム付近 17時30分~18時30分
- JR 柏駅東口 テッキにて 17時45分~18時30分



千葉県社保協通信

2021年度 — No6 2021年 9月 3日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

コロナ禍

いのち・くらしに向き合い
県の役割を発揮して !!

県社保協



コロナ感染拡大の下で社会保障体制の脆弱さがより鮮明になる中、9月2日(木)午前、30回目となる自治体要請キャラバンの一環として県担当課と1時間にわたり懇談。コロナ関連中心に項目を絞り込み、疾病対策課、健康福祉政策課、保険指導課の各課に現場の実態を訴え、県独自の財政支援はじめ、県の役割発揮を求めました。

密を避け、県保険医協会、県民医連、千商連、自治労連県本部、県社保協から5人が出席。

みわ由美、加藤英雄県議(共産党)が同席しました。

医療・介護・福祉・公衆衛生・・・

現場の実態掴み 県独自の財政支援を !!

加藤久美さん(県民医連事務局長)は「コロナ患者を受け入れている病院では、陽性患者のベッドを増床するため、職員体制の見直し、一般病棟ベッドの休床、不急の手術の延期などしなければならない状況だ。その際の休床補償を確約してほしい」と訴えました。

また「発熱外来についても保健所の対応が困難なので直接来院する患者が増えている。発熱外来への県独自の補助金を出すこと」と合わせて「保健所機能の強化」を要望しました。

馬上真吉さん(県保険医協会事務局)は、ワクチン接種が各地で実施されているが、供給不足により新規予約受付が停止されるなどの混乱が生じていることから「ワクチンの供給量を増やし、今後の具体的な供給スケジュールを示すこと」を求めました。

實川理さん(自治労連県本部書記長)は「保健所の削減は国策だが、県民の命と健康を守るため公衆衛生体制を維持し、コロナ感染拡大の下でも、より良く対応できた自治体もある」と話し、「感染症対応の最前線である公衆衛生職場では、1年以上、過労死水準を超える「特例業務」が継続している。県として職場実態を把握し臨時職員の補充など、職員が命を落とすこ

とのないように対応を」と訴えました。

鈴木英雄さん(県商工団体連合会事務局)は、「国民健康保険」について「加入者すべてが新型コロナ感染症で『傷病手当金』を受けられるようにすること」と「新型コロナ感染症の影響による国保料(税)の減免制度の周知徹底」を求めました。県が「傷病手当金」について「個人事業主」は被用者と異なり、「財政・算定方法を含め国が対応すべき」と回答したことに対し、国の財政支援の対象外となっているが「被保険者間の公平性」などを考慮し、全国で15自治体が事業主にも支給していることを紹介。

さらに「18歳未満の子どもの均等割減免」については、国が来年度から未就学児を対象に5割軽減することから、「少子化対策や子育て支援策」として県としても財政支援し、早期実現をと迫りました。担当課は「意見は参考にする」としています。

県として できることもっとあるはず
国に対して “社会保障を守れ” の声を
一緒に挙げてほしい

懇談を終えて、加藤久美さんは話します。
～「日々刻々と深刻さを増す現場の状況、命が絶えるかもしれない状況にもっと緊迫感をもって、瀬戸際に立たされている人の立場に立って考えてほしいとつくづくと思いました。おおもとは今の菅政権が作り出している状況ですが、県としてもできることはあるはずだし、国に対しても医療や介護、社会保障を守れという声を一緒に挙げてほしいと切に願います」と。

9.5 医療・介護・保健所の削減やめて！
いのちまもる緊急行動 参加を！

- JR千葉駅東口 旧クリスタルドーム 17:30～18:30
- JR柏駅東口 デッキ 17:45～18:30

千葉県社保協通信

2021年度 — No.7 2021年 9月 6日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

医療・介護・保健所の削減やめて!!

9.5 いのちまもる緊急行動 県内2カ所で



全労連、中央社保協、医団連のよびかけで5日、全国119ヶ所で行きわたった「医療・介護・保健所の削減やめて！いのちまもる緊急行動」。

県内では、この日開催された千葉労連大会の終了後、JR千葉駅東口、JR柏駅東口デッキの2カ所で、1時間にわたり宣伝を実施しました。

- JR千葉駅東口(写真左上) 13団体・24人
- JR柏駅東口デッキ(写真右上・下) 9団体・17人が参加

国会開き予算措置を!! 医療崩壊を防げ!

千葉駅前の宣伝では、労連、自治労連、全教、年金者組合、医労連、千商連、県社保協の代表が次々とマイクを握り、菅首相の政権投げ出しに対し、「国会を開き、予算措置して医療崩壊を防げ」「菅首相の総辞職は国民に見放された結果だ」「目前に迫る総選挙で自民党・公明党の政権に替わるいのちを守る政府をつくろう」などと訴えました。

あわせて「医療・介護・保健所・福祉の現場を充実させるため菅首相に手紙を書きましょう」と呼びかけ「VOICE」のチラシを配布しました。

「VOICE」ひきつづきお寄せください

“菅首相への手紙～コロナ禍 私が経験したこと”



コロナ禍・・・
「訴えたいこと」
「悲しかったこと」
「うれしかったこと」
「怖かったこと」
「困ったこと」

「医療・介護・保健所・福祉の現場従事者への激励」など・・・

「VOICE」より

—千葉県 富津市 女性起業家 71歳—

●コロナ禍 私が経験したこと

義母1月17日発熱。2日後にPCR検査で陽性。1月28日死亡。4月の100歳誕生日を前に(コロナ肺炎)1月29日遺骨で帰って来た。病院にも行けず介護施設で一人死んで行った義母。悔しかっただろう。保健所からは何の連絡も無し。施設へ指導が入ったという。

●菅首相へのたった一つの私のお願い

秋田出身の義母、秋田出身の貴方に見捨てられた。何も感じられないのか。何もしない貴方にはガッカリだ。

—千葉県 主婦 69歳 —

●コロナ禍 私が経験したこと

夫は認知症で施設に入所。コロナ禍で面会もできず、窓の外から顔を見るだけに。その後入院しましたが、面会はままならず、病院の配慮で「もう危ない」状態になった時に1度だけ会うことができた。もっとつらい思いをされている方も多いと思う。1日も早くこの状況が収まるような実効性のある政策をお願いします。

●菅首相へのたった一つの私のお願い

もっと大規模なPCR検査の実施をして下さい。